

市民参画の手法について

1．これまでの宇治市都市計画マスタープラン策定時の取組み

都市計画マスタープランの勉強会、ワークショップ及び素案説明会の開催など市民参画に基づき、宇治市の特性を活かした独創的な都市計画マスタープランを策定しました。

2．当初宇治市都市計画マスタープラン策定以降の取組み

宇治市まちづくり・景観条例の策定（H20.4）

・まちづくりへの市民参加

8地区の「まちづくり協議会」の設置（H24策定時は6地区）

提案型地区計画の取組中（1地区）

・開発事業の調整

開発事業を行うにあたり、構想段階から地域への周知、説明

マスタープラン策定で得たまちづくりの知識・経験の活用

・大久保駅周辺地区整備構想策定（H18.11）

・宇治駅周辺地区交通バリアフリー基本構想策定（H19.3）

・近鉄小倉駅周辺地区まちづくり（H30～）

3．住民意向に関する既存資料の整理

宇治市が過去に実施した、アンケート結果等を収集、都市計画マスタープランに関連する基礎データの把握・整理を行うことで、住民意向の把握を行う。

4．アンケート調査の実施（令和3年1月～2月頃）

市民の求めるまちづくりや宇治市の魅力等を把握するために、アンケート調査を実施する。同時期に市が予定しているアンケート調査と調整を図りながら内容の精査を行う。

【アンケート項目（案）】

宇治市の魅力（強み・弱み）

・京都・大阪に近く、通勤・通学や買い物に便利である

・宇治川や山並みなどの自然環境に恵まれている

・住環境が整備されていて住みやすい など

都市基盤整備に対する評価と今後求めるまちづくり

・道路の整備

・自然環境の保全

・土地利用の規制・誘導 など

5．市民意見交換（地域別構想）（令和3年4月～8月頃）

他市事例を参考に、コロナ禍における市民意見交換手法を検討。

まちづくりオープンハウス、Webワークショップ など